

〔『教育改革プログラム』の取組みについて (平成19年7月版：7月31日 大阪府学校教育審議会資料)〕

《 課 題 》

1-(1) 学校改革：義務教育

- 児童生徒数の減少、学校規模の縮小への対応
 - 学力問題、体力・運動能力の低下、生活習慣の乱れ、心の健康問題への対策
 - 小学校入学時、中学校への進学時の段差解消
 - 保護者など多様な教育ニーズへの対応
 - 学校の安全管理への対応
- など

1-(1) 学校改革：高等学校

- 生徒数減少、学校規模縮小
 - 進学率96%のもとでの高校教育のあり方
 - 障害のある生徒の入学増加
 - 専門学科・総合学科、職業学科のあり方
 - 定時制の役割変化
- など

1-(1) 学校改革：障害教育

- 養護学級や通常の学級に在籍する障害のある児童・生徒への対応
 - 府立高等学校に在籍する障害のある生徒の入学増加
 - 府立養護学校高等部の生徒数の増加への対応
 - 職業教育や進路指導・アフターケアの充実
 - 医療・福祉等との連携
- など

1-(2) 教育内容と教育方法の改善

- 画一的な授業や生徒指導からの脱却
 - 一部の「学校不信」「教師不信」「公立学校離れ」への対応
 - 学校の活性化と保護者や地域住民に信頼される学校づくり
 - 少年非行、学級崩壊、いじめ・不登校、中途退学への対応
 - 国際化、科学技術・情報化、高齢社会等への対応
- など

1-(3) 学校の自主性・自律性の確立

- 教育諸課題に機敏に対応し、自主的・自律的に教育活動を推進するような組織や運営体制の確立
 - 学校と家庭・地域社会の連携
- など

1-(4) 教員の資質向上と意識改革

- 教員の高齢化と年齢構成の不均衡への対応 (教員の年齢構成の平準化)
- など

2 総合的な教育力の再構築

- 核家族化の進展
 - 家庭の教育力の低下
 - 地域社会の連帯意識の低下
 - 子どもの活動の減少
- など

大阪「教育7日制」の推進

【理念】

学校・家庭・地域が一体となって、大阪の子どもたちを1年365日しっかり見守り、はぐくんでいく

【大阪の教育改革】

21世紀を展望し、大阪の教育の現状と課題や社会の変化、完全学校週5日制等を踏まえ、大阪の伝統を活かし元気で独創的な学校と教育を創造するため、憲法・教育基本法をはじめ関係諸法令に基づき、以下の点を重視した人づくりを目指して教育改革を推進

- (1) 社会の一員としての自覚と規範意識を身につける
- (2) 基礎・基本の上に、自ら考え、判断し、行動する力を養う
- (3) 進取の精神とたくましく生きるための健康・体力を養う
- (4) 生命と人権を尊重し、他者を思いやる豊かな人間性をはぐくむ
- (5) 自然や美への感性を磨き、個性と創造力をはぐくむ
- (6) 郷土への誇りを持ち、世界に目を向けた生き方を養う

《 取 組 み 》

1-(1) 学校改革：義務教育

大阪「教育7日制」に向け、様々な取組みで学校・家庭・地域における子どもの「学び」と「はぐくみ」を支援

P5-8

1-(1) 学校改革：高等学校

「入れる学校から入りたい学校へ」の推進に向け、特色づくり・再編整備など、府立高校改革を計画的に推進

P9-14

1-(1) 学校改革：障害教育

障害のある幼児児童生徒の個々のニーズに対応した「ともに学び、ともに育つ」教育の実践

P15-18

1-(2) 教育内容と教育方法の改善

「考える力」を重視し、個に応じたきめ細かな指導により子どもの個性を伸長

P19-26

1-(3) 学校の自主性・自律性の確立

「首席」配置や学校教育自己診断など国の改革に先駆け取組みで、組織的で開かれた学校運営体制を構築

P27-28

1-(4) 教員の資質向上と意識改革

大阪の教育を支える人材の確保・育成に向け、採用・人事異動・研修等の工夫改善を実施

P29-31

《参考》

子どもの安全・安心、施設の充実 P33
こころの再生府民運動 P34

2 総合的な教育力の再構築

府内全中学校区に「すこやかネット」を設置し、学校・家庭・地域の協働による教育コミュニティづくりを推進

P35-36